



作品名：上 久下八重子《ブラックホール》 下 久下八重子《3頭の馬》

久下八重子展

2026年
2月3日(火)
～
2月8日(日)

丹波市出身の刺繍作家・久下八重子（くげ やえこ）はおよそ35年間、刺繍やパッチワークの技法で作品を制作してきました。制作に用いる布にもこだわりがあり「肌触りがよい」と関心をもった藍染の布や江戸時代に作られた布、そして当地ゆかりの「丹波布」など様々な布を作品に使用しています。

95歳となった現在、久下は約300点の作品を自宅に保管しています。特に自身の干支が「午（うま）」であることから久下の作品にはたびたび馬が登場します。本年が午年であることにちなんで、本展では久下が刺繍やパッチワークで表現した馬の作品を中心に約30点の作品を紹介します。

